

大学番号：私010

[平成29年度設置]

計画の区分：大学の設置

認可

北海道千歳リハビリテーション大学

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人淳心学園
平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 事務局

職名・氏名 ジムキョクチョウ ミナミ トシオ
事務局長 南 俊夫

電話番号 0123-28-5331

（夜間）

F A X 0123-28-5335

e-mail

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学新設の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

健康科学部

<リハビリテーション学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	11
3. 施設・設備の整備状況、経費	27
4. 既設大学等の状況	28
5. 教員組織の状況	29
6. 留意事項等に対する履行状況等	37
7. その他全般的事項	38

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人淳心学園

(2) 大学名

北海道千歳リハビリテーション大学

(3) 大学の位置

〒066-0055
北海道千歳市里美2丁目10番

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(マツキ シズヒロ) 松木 謙公 (平成27年6月)		
学長	(モリ ミツル) 森 満 (平成29年4月)		
学部長	(シオミ タイゾウ) 潮見 泰藏 (平成29年4月)	(イトウ トシカズ) 伊藤 俊一 (平成29年4月)	設置認可時に学部長予定者の潮見教授が病気療養で平成29年3月に辞職したため、開設時(平成29年4月)に伊藤俊一教授に変更(29)
学科長等	(シオミ タイゾウ) 潮見 泰藏 (平成29年4月)	(イトウ トシカズ) 伊藤 俊一 (平成29年4月)	設置認可時に学科長予定者の潮見教授が病気療養で平成29年3月に辞職したため、開設時(平成29年4月)に伊藤俊一教授に変更(29)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
健康科学部 リハビリテーション学科 学士(理学療法学科) 学士(作業療法学科)	保健衛生学 (リハビリテーション関係)	4年	110人	なし	440人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	110人 (-) [-]	-人	1.11倍							
志願者数	197 (-) [-]	(-) (-) [-]	(-) (-) [-]	(-) (-) [-]	(-) (-) [-]	(-) (-) [-]	(-) (-) [-]	(-) (-) [-]		
受験者数	196 (-) [-]	(-) (-) [-]	(-) (-) [-]	(-) (-) [-]	(-) (-) [-]	(-) (-) [-]	(-) (-) [-]	(-) (-) [-]		
合格者数	148 (-) [-]	(-) (-) [-]	(-) (-) [-]	(-) (-) [-]	(-) (-) [-]	(-) (-) [-]	(-) (-) [-]	(-) (-) [-]		
B 入学者数	123 (-) [-]	(-) (-) [-]	(-) (-) [-]	(-) (-) [-]	(-) (-) [-]	(-) (-) [-]	(-) (-) [-]	(-) (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.11		-		-		-			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年度で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	123 [-] (-)	- [-] (-)							
2 年次	/		- [-] (-)						
3 年次	/		/		- [-] (-)				
4 年次	/		/		/		- [-] (-)	- [-] (-)	
計	123 [-] (-)	- [-] (-)							

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
健康科学部 リハビリテーション 学科 理学療法専攻 学士(理学療法)	保健衛生学 (リハビリテーション関係)	4年	80人	なし	320人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	80人 (-) [-]	-人	1.16倍							
志願者数	156 (-) [-]	(-) [-]								
受験者数	156 (-) [-]	(-) [-]								
合格者数	110 (-) [-]	(-) [-]								
B 入学者数	93 (-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.16		-		-		-			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年度で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	93 [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	[] [] (-)	- [-] (-)	[] [] (-)	- [-] (-)	[] [] (-)	
2 年次	/		[-] (-)						
3 年次	/		/		[-] (-)				
4 年次	/		/		/		[-] (-)	[-] (-)	
計	93 [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	[] [] (-)	- [-] (-)	[] [] (-)	- [-] (-)	[] [] (-)	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成29年度 入学者	93 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成30年度	- 人	- 人		
			平成31年度	- 人	- 人		
			平成32年度	- 人	- 人		
平成30年度 入学者	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人		- %
			平成31年度	- 人	- 人		
			平成32年度	- 人	- 人		
平成31年度 入学者	- 人	- 人	平成31年度	- 人	- 人		- %
			平成32年度	- 人	- 人		
平成32年度 入学者	- 人	- 人	平成32年度	- 人	- 人		- %
合 計	93 人	0 人					0.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
健康科学部 リハビリテーション 学科 作業療法専攻 学士(作業療法学)	保健衛生学 (リハビリテーション関係)	4年	30人	なし	120人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	30人 (-) [-]	-人	1.00倍							
志願者数	41 (-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]		
受験者数	40 (-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]		
合格者数	38 (-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]		
B 入学者数	30 (-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.00									

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	30 [-] (-)	- [-] (-)							
2年次	/		- [-] (-)						
3年次	/		/		- [-] (-)				
4年次	/		/		/		- [-] (-)	- [-] (-)	
計	30 [-] (-)	- [-] (-)							

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

2 授業科目の概要

<健康科学部 リハビリテーション学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				備考		
			必修	選択	自由	単位	教授	准教授	講師	助教		助手	
教養科目	導入基礎科目	学びの技法	1前	1			3					オムニバス	
		理解と表現	1前	2			3		1			オムニバス	
		社会貢献の方法と実践	1前	1								兼 1	
		情報学	1前		1		1						
	人間の理解	心理学	1前	2			1						
		倫理学	1前		1		1						
		応用倫理学	1後	1			1						
		思想の歴史	1後		1		1						
		歴史学	1後		1							兼 1	
	社会の認識	社会調査法	1前		1							兼 2	オムニバス
		現代の社会と人間	2前	1			1						
		北海道の医療と社会・経済	1後	1					1				
		文化人類学	2前		1							兼 1	
	自然の探求	生命科学概論	1前	1			1						
		自然科学概論	1前	1			1						
		統計学	1前		1		1						
		生物学	1前		1		1						
		基礎生化学	1後	2			1						
		物理学	1後		1		1						
		スポーツ・レクリエーション学	2後		1							兼 1	
	英語科目	基礎英語	1前	2					1				
		英会話	1後		2				1				
		英語ライティング	2後		2				1				
		保健医学英語 I	2後	2					1				
保健医学英語 II		3前		2				1					
専門基礎科目	基礎医学	人体構造機能学 I (筋・骨関節系)	1前	2			1						
		人体構造機能学 I (神経系)	1前	2			1						
		人体構造機能学 I (内臓・脈管系)	1後	2			1		1			兼 1	オムニバス
		人体構造機能学 II (筋・骨関節系)	1後	1			1		1				
		人体構造機能学 II (神経系)	1後	1			1						
		人体構造機能学 II (内臓・脈管系)	2前	1			1		1			兼 1	
		人体構造機能学実習	2後	3			2		1	1		兼 5	
		運動学	1後	2			2						オムニバス
		運動学演習	1後	2						1		兼 1	
		老年学	2前	1				1				兼 1	オムニバス
		人間発達学	1後	1			1		1				オムニバス

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				備考		
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手			
専門基礎科目	臨床医学	精神障害基礎論	2前	1						1	兼1	オムニバス	
		薬理学概論	2後		1		2						オムニバス
		医学概論	2前	1			1						
		リハビリテーション概論	1前	1			1 2						オムニバス 潮見泰藏教授平成29年3月辞職によりオムニバス解消。潮見教授の担当部分も伊藤俊一専任教授が担当する。 平成29年6月AC教員審査提出予定(29)
		周術期医療基礎論	2前	1						1		兼1	オムニバス
		内部障害基礎論	2前	2						1			
		運動器障害基礎論	2前	2			1	1				兼1	オムニバス
		中枢神経障害基礎論	2前	2			4					兼1	オムニバス 潮見泰藏教授平成29年3月辞職によりオムニバス解消。潮見教授の担当部分も久保田健太兼任講師が担当する。 平成29年6月AC教員審査提出予定(29)
		発達障害基礎論	2前	1			1			1			
		医用画像解析学概論	2後		1							兼1	
	臨床心理学	2前	2			1							
	医療安全管理学	3後	1			1							
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	公衆衛生学	4後	1			1						
		福祉介護概論	2後		1							兼1	
		在宅リハビリテーション学	2後		1							兼1	
		言語聴覚療法概論	2後		1							兼1	
健康増進障害予防概論		1後	2			1							
健康増進障害予防演習Ⅰ(検査測定)		2後	1			1					兼1		
健康増進障害予防演習Ⅱ(実践指導)		4後	1			1					兼1		
理学療法専攻科目	基礎理学療法	理学療法概論	1前		1		1 2					オムニバス 潮見泰藏教授平成29年3月辞職によりオムニバス解消。潮見教授担当部分も小林巧専任教授が担当する。 平成29年6月AC教員審査提出予定(29)	
		日常生活活動学(理学療法)	2後		2		4	1				オムニバス 潮見泰藏教授平成29年3月辞職によりオムニバス解消。潮見教授担当部分も田中昌史専任准教授が担当する。 平成29年6月AC教員審査提出予定(29)	
	物理療法学	3後		2					1				
	義肢装具学(理学療法)	3後		2		1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
理学療法専攻科目	理学療法評価学	理学療法基礎評価学Ⅰ	2前	1		2						オムニバス	
		理学療法基礎評価学Ⅰ演習	2前	1		2						オムニバス	
		理学療法基礎評価学Ⅱ	2後	2		2						オムニバス	
		日常生活活動評価学	2後	1			1						
		日常生活活動評価学演習	2後	1				1					
	理学療法治療学	神経障害理学療法学	3前		2							兼1	
		神経障害理学療法学演習	3前		1							兼1	
		神経障害理学療法学実習	3後		1		4					兼1	潮見泰蔵教授平成29年3月辞職により、久保田健太兼任講師に変更 平成29年6月AC教員審査提出予定(29)
		運動器障害理学療法学	3前		2		2	1					オムニバス
		運動器障害理学療法学演習Ⅰ	3前		1		1	1					オムニバス
		運動器障害理学療法学演習Ⅱ	3後		1		1	1					オムニバス
		内部障害理学療法学	3前		2				1			兼2	オムニバス
		内部障害理学療法学演習Ⅰ	3前		1				1				
		内部障害理学療法学演習Ⅱ	3後		1							兼1	
	学地域療法	地域理学療法学	3後		2							兼2	オムニバス
		生活環境学(理学療法)	3後		2							兼2	オムニバス
	理学療法臨床実習	臨床見学セミナー(理学療法)	1前		1		1	2	1				潮見泰蔵教授平成29年3月辞職により、専任教員6名での担当から専任教員5名での担当に変更 平成29年6月AC教員審査提出予定(29)
		臨床見学実習(理学療法)	1前		1		4	5	2	2	1	兼5	潮見泰蔵教授平成29年3月辞職により、専任教員10名、兼任教員5名、計15名での担当から専任教員9名、兼任教員5名の計14名での担当に変更 平成29年6月AC教員審査提出予定(29)
		臨床評価学セミナー(理学療法)	3前		1		4	5	2	2	1	兼5	潮見泰蔵教授平成29年3月辞職により、専任教員10名、兼任教員5名、計15名での担当から専任教員9名、兼任教員5名の計14名での担当に変更 平成29年6月AC教員審査提出予定(29)
		臨床評価学実習(理学療法)	3前		4		4	5	2	2	1	兼5	潮見泰蔵教授平成29年3月辞職により、専任教員10名、兼任教員5名、計15名での担当から専任教員9名、兼任教員5名の計14名での担当に変更 平成29年6月AC教員審査提出予定(29)
臨床治療学セミナーⅠ(理学療法)		4前		1		4	5	2	2	1	兼5	潮見泰蔵教授平成29年3月辞職により、専任教員10名、兼任教員5名、計15名での担当から専任教員9名、兼任教員5名の計14名での担当に変更 平成29年6月AC教員審査提出予定(29)	

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
理学療法 臨床実習	臨床治療学実習Ⅰ（理学療法）	4前		8		4 5	2	2	1		兼 5	潮見泰藏教授平成29年3月辞職により、専任教員10名、兼任教員5名、計15名での担当から専任教員9名、兼任教員5名の計14名での担当に変更 平成29年6月AC教員審査提出予定(29)		
	臨床治療学セミナーⅡ（理学療法）	4前		1		4 5	2	2	1		兼 5	潮見泰藏教授平成29年3月辞職により、専任教員10名、兼任教員5名、計15名での担当から専任教員9名、兼任教員5名の計14名での担当に変更 平成29年6月AC教員審査提出予定(29)		
	臨床治療学実習Ⅱ（理学療法）	4前		8		4 5	2	2	1		兼 5	潮見泰藏教授平成29年3月辞職により、専任教員10名、兼任教員5名、計15名での担当から専任教員9名、兼任教員5名の計14名での担当に変更 平成29年6月AC教員審査提出予定(29)		
	理学療法専攻科目	ケーススタディー	3後		2					1		兼 1	オムニバス	
		理学療法研究法	3後		1		1							
		理学療法研究法演習（卒業研究）	4通		4		4 5	2	2	1			潮見泰藏教授平成29年3月辞職により、専任教員10名での担当から専任教員9名での担当に変更 平成29年6月AC教員審査提出予定(29)	
		理学療法管理学	4後		1		1	1					オムニバス	
		理学療法ゼミⅠ	3通		2		4 5	2	2	1			潮見泰藏教授平成29年3月辞職により、専任教員10名での担当から専任教員9名での担当に変更 平成29年6月AC教員審査提出予定(29)	
		理学療法ゼミⅡ	4後		4		4 5	2	2	1			潮見泰藏教授平成29年3月辞職により、専任教員10名での担当から専任教員9名での担当に変更 平成29年6月AC教員審査提出予定(29)	
		スポーツ傷害理学療法学	3前		1		1	1					オムニバス	
		高齢者理学療法学	3前		1								兼 1	
		神経筋疾患理学療法学	3前		1								兼 1	
神経障害理学療法学特論		4後		2						1		兼 1		
運動器障害理学療法学特論	4後		2			1								
内部障害理学療法学特論	4後		2						1		兼 1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				備考	
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手		
専門科目 作業療法専攻科目	基礎作業療法	作業療法概論	1前	1							兼1	
		作業学概論	2後	2			1	1				オムニバス
		作業分析学	2後	2				2			兼1	オムニバス
		日常生活活動学（作業療法）	2後	2				1			兼1	オムニバス
		日常生活活動学（作業療法）演習	3前	1				2				オムニバス
		義肢装具学（作業療法）	3後	1							兼2	オムニバス
		義肢装具学（作業療法）演習	3後	1							兼2	オムニバス
		社会生活行為学	3後	1			1	1			兼1	オムニバス
	作業療法評価学	作業療法評価学（身体・老年期障害）	1後	1				1				
		作業療法評価学演習Ⅰ（身体・老年期障害）	2前	1				1				
		作業療法評価学演習Ⅱ（身体・老年期・発達障害）	2後	1				3				オムニバス
		作業療法評価学（精神障害）	2後	1				1	1			オムニバス
		作業療法評価学演習Ⅲ（精神障害）	2後	1				1				
		作業療法評価学（発達障害）	2後	1				1				
		作業療法評価学（高次脳機能障害）	2後	1			1					
		作業療法評価学演習Ⅳ（高次脳機能障害）	2後	1			1					
	作業療法治療学	身体障害作業治療学	3前	2				1				
		精神障害作業治療学	3前	2				1	1			オムニバス
		発達障害作業治療学	3後	2				1				
		老年期障害作業治療学	3後	2				1				
		高次脳機能障害作業治療学	3後	1			1					
	業地域作	生活環境学（作業療法）	3前	2				1			兼1	オムニバス
		地域作業療法学	3後	2							兼2	オムニバス
	作業療法臨床実習	臨床見学セミナー（作業療法）	1前	1			1	3				
		臨床見学実習（作業療法）	1前	1			1	3				
		臨床評価学セミナー（作業療法）	3前	1			1	5			兼1	
		臨床評価学実習（作業療法）	3前	4			1	5			兼1	
		臨床治療学セミナーⅠ（作業療法）	4前	1			1	5			兼1	
		臨床治療学実習Ⅰ（作業療法）	4前	8			1	5			兼1	
		臨床治療学セミナーⅡ（作業療法）	4前	1			1	5			兼1	
	臨床治療学実習Ⅱ（作業療法）	4前	8			1	5			兼1		
	応用作業療法	作業療法研究法	3後	1			1					
		作業療法研究法演習（卒業研究）	4通	4			1	5	1			
作業療法管理学		4後	1				1					
作業療法特別セミナー		4後	3				1					
特別支援教育概論		4後	1							兼1		
箱づくり法		4後	1					1				
身体・老年期障害作業治療学特論		4後	1				1					
精神障害作業治療学特論		4後	1				1					
発達障害作業治療学特論		4後	1				1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目 理学療法専攻・作業療法専攻 応用リハビリテーション	生活行為向上リハビリテーション論	3前		2						1	兼1	オムニバス
	国際医療支援論	4後		1		1					兼1	オムニバス 潮見泰藏教授平成29年3月辞職により、伊藤俊一専任教授と内藤順子兼任講師によるオムニバスで開講する。 平成29年6月AC教員審査提出予定(29)

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任, 兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で, 前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し, 「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお, 昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については, 見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任, 兼担の教員が担当する授業科目については, 備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で, 専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては, 「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には, 「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について, 設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても, 設置認可時の状況を黒字で記入してください。また, 前年度報告時より修正があれば, 赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目 37	科目 100	科目 0	科目 137	科目 [0]	科目 [0]	科目 [0]	科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに, [] 内に, 設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

2 授業科目の概要

<健康科学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				備考	
			必修	選択	自由	単位	教授	准教授	講師	助教		助手
教養科目	導入基礎科目	学びの技法	1前	1			3					オムニバス
		理解と表現	1前	2			3		1			オムニバス
		社会貢献の方法と実践	1前	1								兼 1
		情報学	1前		1		1					
	人間の理解	心理学	1前	2			1					
		倫理学	1前		1		1					
		応用倫理学	1後	1			1					
		思想の歴史	1後		1		1					
		歴史学	1後		1							兼 1
	社会の認識	社会調査法	1前		1							兼 2
		現代の社会と人間	2前	1			1					オムニバス
		北海道の医療と社会・経済	1後	1					1			
		文化人類学	2前		1							兼 1
	自然の探求	生命科学概論	1前	1			1					
		自然科学概論	1前	1			1					
		統計学	1前		1		1					
		生物学	1前		1		1					
		基礎生化学	1後	2			1					
		物理学	1後		1		1					
		スポーツ・レクリエーション学	2後		1							兼 1
	英語科目	基礎英語	1前	2					1			
		英会話	1後		2				1			
		英語ライティング	2後		2				1			
		保健医学英語Ⅰ	2後	2					1			
保健医学英語Ⅱ		3前		2				1				
専門基礎科目	基礎医学	人体構造機能学Ⅰ（筋・骨関節系）	1前	2			1					
		人体構造機能学Ⅰ（神経系）	1前	2			1					
		人体構造機能学Ⅰ（内臓・脈管系）	1後	2			1		1			兼 1
		人体構造機能学Ⅱ（筋・骨関節系）	1後	1			1		1			
		人体構造機能学Ⅱ（神経系）	1後	1			1					
		人体構造機能学Ⅱ（内臓・脈管系）	2前	1			1		1			兼 1
		人体構造機能学実習	2後	3			2		1	1		兼 5
		運動学	1後	2			2					オムニバス
		運動学演習	1後	2						1		兼 1
		老年学	2前	1				1				兼 1
		人間発達学	1後	1			1		1			オムニバス

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手				
専門基礎科目	臨床医学	精神障害基礎論	2前	1						1		兼 1	オムニバス	
		薬理学概論	2後		1		2							オムニバス
		医学概論	2前	1			1							
		リハビリテーション概論	1前	1			1 2							オムニバス 潮見泰藏教授平成29年3月辞職によりオムニバス解消。潮見教授の担当部分も伊藤俊一専任教授が担当する。 平成29年6月AC教員審査提出予定(29)
		周術期医療基礎論	2前	1						1			兼 1	オムニバス
		内部障害基礎論	2前	2						1				
		運動器障害基礎論	2前	2			1	1					兼 1	オムニバス
		中枢神経障害基礎論	2前	2			4						兼 1	オムニバス 潮見泰藏教授平成29年3月辞職によりオムニバス解消。潮見教授の担当部分も久保田健太兼任講師が担当する。 平成29年6月AC教員審査提出予定(29)
		発達障害基礎論	2前	1			1			1				
		医用画像解析学概論	2後		1								兼 1	
	臨床心理学	2前	2			1								
	医療安全管理学	3後	1			1								
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	公衆衛生学	4後	1			1							
		福祉介護概論	2後		1								兼 1	
		在宅リハビリテーション学	2後		1								兼 1	
		言語聴覚療法概論	2後		1								兼 1	
健康増進障害予防概論		1後	2			1								
健康増進障害予防演習Ⅰ(検査測定)		2後	1			1						兼 1		
健康増進障害予防演習Ⅱ(実践指導)		4後	1			1						兼 1		
理学療法専攻科目	基礎理学療法	理学療法概論	1前		1		1 2						オムニバス 潮見泰藏教授平成29年3月辞職によりオムニバス解消。潮見教授担当部分も小林巧専任教授が担当する。 平成29年6月AC教員審査提出予定(29)	
		日常生活活動学(理学療法)	2後		2		4	1					オムニバス 潮見泰藏教授平成29年3月辞職によりオムニバス解消。潮見教授担当部分も田中昌史専任准教授が担当する。 平成29年6月AC教員審査提出予定(29)	
	物理療法学	3後		2					1					
	義肢装具学(理学療法)	3後		2		1								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
理学療法専攻科目	理学療法基礎評価学Ⅰ	2前		1		2						オムニバス	
	理学療法基礎評価学Ⅰ演習	2前		1		2						オムニバス	
	理学療法基礎評価学Ⅱ	2後		2		2						オムニバス	
	日常生活活動評価学	2後		1			1						
	日常生活活動評価学演習	2後		1			1						
	理学療法治療学	神経障害理学療法学	3前		2								兼1
		神経障害理学療法学演習	3前		1								兼1
		神経障害理学療法学実習	3後		1		4						兼1 潮見泰蔵教授平成29年3月辞職により、久保田健太兼任講師に変更 平成29年6月AC教員審査提出予定(29)
		運動器障害理学療法学	3前		2		2	1					オムニバス
		運動器障害理学療法学演習Ⅰ	3前		1		1	1					オムニバス
		運動器障害理学療法学演習Ⅱ	3後		1		1	1					オムニバス
		内部障害理学療法学	3前		2				1				兼2 オムニバス
		内部障害理学療法学演習Ⅰ	3前		1				1				
		内部障害理学療法学演習Ⅱ	3後		1								兼1
	学地域療法	地域理学療法学	3後		2								兼2 オムニバス
		生活環境学(理学療法)	3後		2								兼2 オムニバス
	理学療法臨床実習	臨床見学セミナー(理学療法)	1前		1		1	2	1				兼5 潮見泰蔵教授平成29年3月辞職により、専任教員6名での担当から専任教員5名での担当に変更 平成29年6月AC教員審査提出予定(29)
		臨床見学実習(理学療法)	1前		1		4	5	2	2	1		兼5 潮見泰蔵教授平成29年3月辞職により、専任教員10名、兼任教員5名、計15名での担当から専任教員9名、兼任教員5名の計14名での担当に変更 平成29年6月AC教員審査提出予定(29)
		臨床評価学セミナー(理学療法)	3前		1		4	5	2	2	1		兼5 潮見泰蔵教授平成29年3月辞職により、専任教員10名、兼任教員5名、計15名での担当から専任教員9名、兼任教員5名の計14名での担当に変更 平成29年6月AC教員審査提出予定(29)
		臨床評価学実習(理学療法)	3前		4		4	5	2	2	1		兼5 潮見泰蔵教授平成29年3月辞職により、専任教員10名、兼任教員5名、計15名での担当から専任教員9名、兼任教員5名の計14名での担当に変更 平成29年6月AC教員審査提出予定(29)
臨床治療学セミナーⅠ(理学療法)		4前		1		4	5	2	2	1		兼5 潮見泰蔵教授平成29年3月辞職により、専任教員10名、兼任教員5名、計15名での担当から専任教員9名、兼任教員5名の計14名での担当に変更 平成29年6月AC教員審査提出予定(29)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
理学療法専攻科目 専門科目	臨床治療学実習Ⅰ（理学療法）	4前		8		4 5	2	2	1		兼 5	潮見泰藏教授平成29年3月辞職により、専任教員10名、兼任教員5名、計15名での担当から専任教員9名、兼任教員5名の計14名での担当に変更 平成29年6月AC教員審査提出予定(29)	
	臨床治療学セミナーⅡ（理学療法）	4前		1		4 5	2	2	1		兼 5	潮見泰藏教授平成29年3月辞職により、専任教員10名、兼任教員5名、計15名での担当から専任教員9名、兼任教員5名の計14名での担当に変更 平成29年6月AC教員審査提出予定(29)	
	臨床治療学実習Ⅱ（理学療法）	4前		8		4 5	2	2	1		兼 5	潮見泰藏教授平成29年3月辞職により、専任教員10名、兼任教員5名、計15名での担当から専任教員9名、兼任教員5名の計14名での担当に変更 平成29年6月AC教員審査提出予定(29)	
	ケーススタディー	3後		2					1		兼 1	オムニバス	
	理学療法研究法	3後		1		1							
	理学療法研究法演習（卒業研究）	4通		4		4 5	2	2	1				潮見泰藏教授平成29年3月辞職により、専任教員10名での担当から専任教員9名での担当に変更 平成29年6月AC教員審査提出予定(29)
	理学療法管理学	4後		1		1	1						オムニバス
	理学療法ゼミⅠ	3通		2		4 5	2	2	1				潮見泰藏教授平成29年3月辞職により、専任教員10名での担当から専任教員9名での担当に変更 平成29年6月AC教員審査提出予定(29)
	理学療法ゼミⅡ	4後		4		4 5	2	2	1				潮見泰藏教授平成29年3月辞職により、専任教員10名での担当から専任教員9名での担当に変更 平成29年6月AC教員審査提出予定(29)
	スポーツ傷害理学療法学	3前		1		1	1						オムニバス
	高齢者理学療法学	3前		1								兼 1	
	神経筋疾患理学療法学	3前		1								兼 1	
	神経障害理学療法学特論	4後		2					1			兼 1	
	運動器障害理学療法学特論	4後		2			1						
内部障害理学療法学特論	4後		2					1			兼 1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目 理学療法専攻・作業療法専攻 応用リハビリテーション	生活行為向上リハビリテーション論	3前		2						1	兼1	オムニバス
	国際医療支援論	4後		1		1					兼1	オムニバス 潮見泰藏教授平成29年3月辞職により、伊藤俊一専任教授と内藤順子兼任講師によるオムニバスで開講する。 平成29年6月AC教員審査提出予定(29)

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任, 兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で, 前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し, 「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお, 昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については, 見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任, 兼担の教員が担当する授業科目については, 備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で, 専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては, 「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には, 「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について, 設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても, 設置認可時の状況を黒字で記入してください。また, 前年度報告時より修正があれば, 赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目 37	科目 60	科目 0	科目 97	科目 [0]	科目 [0]	科目 [0]	科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに, [] 内に, 設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

2 授業科目の概要

<健康科学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				備考	
			必修	選択	自由	単位	教授	准教授	講師	助教		助手
教養科目	導入基礎科目	学びの技法	1前	1			3					オムニバス
		理解と表現	1前	2			3		1			オムニバス
		社会貢献の方法と実践	1前	1								兼 1
		情報学	1前		1		1					
	人間の理解	心理学	1前	2			1					
		倫理学	1前		1		1					
		応用倫理学	1後	1			1					
		思想の歴史	1後		1		1					
		歴史学	1後		1							兼 1
	社会の認識	社会調査法	1前		1							兼 2
		現代の社会と人間	2前	1			1					オムニバス
		北海道の医療と社会・経済	1後	1					1			
		文化人類学	2前		1							兼 1
	自然の探求	生命科学概論	1前	1			1					
		自然科学概論	1前	1			1					
		統計学	1前		1		1					
		生物学	1前		1		1					
		基礎生化学	1後	2			1					
		物理学	1後		1		1					
		スポーツ・レクリエーション学	2後		1							兼 1
	英語科目	基礎英語	1前	2					1			
		英会話	1後		2				1			
		英語ライティング	2後		2				1			
		保健医学英語 I	2後	2					1			
保健医学英語 II		3前		2				1				
専門基礎科目	基礎医学	人体構造機能学 I (筋・骨関節系)	1前	2			1					
		人体構造機能学 I (神経系)	1前	2			1					
		人体構造機能学 I (内臓・脈管系)	1後	2			1		1			兼 1
		人体構造機能学 II (筋・骨関節系)	1後	1			1		1			
		人体構造機能学 II (神経系)	1後	1			1					
		人体構造機能学 II (内臓・脈管系)	2前	1			1		1			兼 1
		人体構造機能学実習	2後	3			2		1	1		兼 5
		運動学	1後	2			2					オムニバス
		運動学演習	1後	2						1		兼 1
		老年学	2前	1				1				兼 1
		人間発達学	1後	1			1		1			オムニバス

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				備考		
			必修	選択	自由	単位	教授	准教授	講師	助教		助手	
専門基礎科目	精神障害基礎論	2前	1							1	兼 1	オムニバス	
	薬理学概論	2後		1		2						オムニバス	
	医学概論	2前	1			1							
	リハビリテーション概論	1前	1				1 2					オムニバス 潮見泰蔵教授平成29年3月辞職によりオムニバス解消。潮見教授の担当部分も伊藤俊一専任教授が担当する。 平成29年6月AC教員審査提出予定(29)	
	周術期医療基礎論	2前	1						1		兼 1	オムニバス	
	内部障害基礎論	2前	2						1				
	運動器障害基礎論	2前	2			1	1				兼 1	オムニバス	
	中枢神経障害基礎論	2前	2				4				兼 1	オムニバス 潮見泰蔵教授平成29年3月辞職によりオムニバス解消。潮見教授の担当部分も久保田健太兼任講師が担当する。 平成29年6月AC教員審査提出予定(29)	
	発達障害基礎論	2前	1			1			1				
	医用画像解析学概論	2後		1							兼 1		
	臨床心理学	2前	2			1							
	医療安全管理学	3後	1			1							
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	公衆衛生学	4後	1			1						
		福祉介護概論	2後		1							兼 1	
		在宅リハビリテーション学	2後		1							兼 1	
言語聴覚療法概論		2後		1							兼 1		
健康増進障害予防概論		1後	2			1							
健康増進障害予防演習Ⅰ(検査測定)		2後	1			1					兼 1		
健康増進障害予防演習Ⅱ(実践指導)		4後	1			1					兼 1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				備考	
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手		
専門科目 作業療法専攻科目	基礎作業療法	作業療法概論	1前	1							兼1	
		作業学概論	2後	2			1	1				オムニバス
		作業分析学	2後	2				2			兼1	オムニバス
		日常生活活動学（作業療法）	2後	2				1			兼1	オムニバス
		日常生活活動学（作業療法）演習	3前	1				2				オムニバス
		義肢装具学（作業療法）	3後	1							兼2	オムニバス
		義肢装具学（作業療法）演習	3後	1							兼2	オムニバス
		社会生活行為学	3後	1			1	1			兼1	オムニバス
	作業療法評価学	作業療法評価学（身体・老年期障害）	1後	1				1				
		作業療法評価学演習Ⅰ（身体・老年期障害）	2前	1				1				
		作業療法評価学演習Ⅱ（身体・老年期・発達障害）	2後	1				3				オムニバス
		作業療法評価学（精神障害）	2後	1				1	1			オムニバス
		作業療法評価学演習Ⅲ（精神障害）	2後	1				1				
		作業療法評価学（発達障害）	2後	1				1				
		作業療法評価学（高次脳機能障害）	2後	1			1					
		作業療法評価学演習Ⅳ（高次脳機能障害）	2後	1			1					
	作業療法治療学	身体障害作業治療学	3前	2				1				
		精神障害作業治療学	3前	2				1	1			オムニバス
		発達障害作業治療学	3後	2				1				
		老年期障害作業治療学	3後	2				1				
		高次脳機能障害作業治療学	3後	1			1					
	業地域作	生活環境学（作業療法）	3前	2				1			兼1	オムニバス
		地域作業療法学	3後	2							兼2	オムニバス
	作業療法臨床実習	臨床見学セミナー（作業療法）	1前	1			1	3				
		臨床見学実習（作業療法）	1前	1			1	3				
		臨床評価学セミナー（作業療法）	3前	1			1	5			兼1	
		臨床評価学実習（作業療法）	3前	4			1	5			兼1	
		臨床治療学セミナーⅠ（作業療法）	4前	1			1	5			兼1	
		臨床治療学実習Ⅰ（作業療法）	4前	8			1	5			兼1	
		臨床治療学セミナーⅡ（作業療法）	4前	1			1	5			兼1	
	臨床治療学実習Ⅱ（作業療法）	4前	8			1	5			兼1		
	応用作業療法	作業療法研究法	3後	1			1					
		作業療法研究法演習（卒業研究）	4通	4			1	5	1			
作業療法管理学		4後	1				1					
作業療法特別セミナー		4後	3				1					
特別支援教育概論		4後	1							兼1		
箱づくり法		4後	1					1				
身体・老年期障害作業治療学特論		4後	1				1					
精神障害作業治療学特論		4後	1				1					
発達障害作業治療学特論	4後	1				1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目 理学療法専攻・作業療法専攻 応用リハビリテーション	生活行為向上リハビリテーション論	3前		2						1	兼 1 オムニバス
	国際医療支援論	4後		1		1					兼 1 オムニバス 潮見泰藏教授平成29年3月辞職により、伊藤俊一専任教授と内藤順子兼任講師によるオムニバスで開講する。 平成29年6月AC教員審査提出予定(29)

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任, 兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で, 前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し, 「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお, 昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については, 見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任, 兼担の教員が担当する授業科目については, 備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で, 専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては, 「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には, 「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について, 設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても, 設置認可時の状況を黒字で記入してください。また, 前年度報告時より修正があれば, 赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目 37	科目 60	科目 0	科目 97	科目 [0]	科目 [0]	科目 [0]	科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに, [] 内に, 設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \boxed{\text{該当なし}} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が, 「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	北海道千歳リハビリテーション学院と共用 収容定員360名			
	校舎敷地	— m ²	11,297.07 m ²	— m ²	11,297.07 m ²				
	運動場用地	— m ²	— m ²	— m ²	— m ²				
	小 計	— m ²	11,297.07 m ²	— m ²	11,297.07 m ²				
	その他 (寄宿舍・駐車場)	— m ²	2,151.16 m ²	— m ²	2,151.16 m ²				
	合 計	— m ²	13,448.23 m ²	— m ²	13,448.23 m ²				
(2) 校 舎	専 用	7,739.10 m ² (1,326.84 m ²)	— m ² (4,675.62 m ²)	共用する他の学校等の専用 — m ² (1,736.64 m ²)	計 7,739.10 m ² (7,739.10 m ²)	北海道千歳リハビリテーション学院と共用 収容定員360名 基準面積1,220m ²			
(3) 教 室 等	講 義 室	14 室	演 習 室 5 室	実験実習室 11 室	情報処理学習施設 1 室 (補助職員 一人)	語学学習施設 — 室 (補助職員 一人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		大学全体			
	健康科学部 リハビリテーション学科			25 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体	
		健康科学部	16,522 [1005] (11,522 [605])	24 [6] (24 [6])	5 [2] (5 [2])	259 (199)	1,719 (1,719)		86 (86)
	計	16,522 [1005] (11,522 [605])	24 [6] (24 [6])	5 [2] (5 [2])	259 (199)	1,719 (1,719)	86 (86)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	755.17 m ²		174 席		23,040 冊				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	1,368.40 m ²		(該当なし)						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	・ 第一年度以降は通常 予算で計上する。 ・ 図書購入費には電子 ジャーナルデータベース の整備・運用費を含 む。
		教員1人当たり研究費等	400千円	400千円	図書購入費	26,000千円	9,500千円	500千円	
	共同研究費等	—千円	—千円	設備購入費	137,632千円	14,452千円	800千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,600千円	1,300千円	1,300千円	1,300千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		手数料収入、寄附金、資産運用収入、雑収入等である。							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	北海道千歳リハビリテーション大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
《AC対象学部等》 健康科学部									
リハビリテーション学科	4	110	-	440	学士 (理学療法学)	1.11	平成29年度	北海道 千歳市里美2丁目10番	
理学療法学専攻	4	80	-	320	学士 (理学療法学)	1.16	平成29年度	同上	
作業療法学専攻	4	30	-	120	学士 (作業療法学)	1.00	平成29年度	同上	
大学の名称	〇〇短期大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
該当なし	年	人	年次人	人		倍			

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
- ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
- ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
- ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<健康科学部 リハビリテーション学科>

(1) 担当教員表

専任・兼任・兼任の別	設置時の計画				変更状況				備考
	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授(学長)	モリミツル 森満	<平成29年4月>	薬理学概論※ 医学概論 公衆衛生学					
専	教授(副学長)	イトウ トシカズ 伊藤 俊一	<平成31年4月>	リハビリテーション概論※ 健康増進障害予防概論 健康増進障害予防演習Ⅰ(検査測定) 健康増進障害予防演習Ⅱ(実践指導) 臨床見学実習(理学療法) 臨床評価学セミナー(理学療法) 臨床評価学実習(理学療法) 臨床治療学セミナーⅠ(理学療法) 臨床治療学実習Ⅰ(理学療法) 臨床治療学セミナーⅡ(理学療法) 臨床治療学実習Ⅱ(理学療法) 理学療法研究法演習(卒業研究) 理学療法ゼミⅠ 理学療法ゼミⅡ	専 教授(副学長)(学部長)	イトウ トシカズ 伊藤 俊一	(平成29年4月)	リハビリテーション概論 国際医療支援論※	平成29年3月 潮見泰歳教授退職のためオムニバスを解消し伊藤俊一教授の単独授業とする。 [平成29年6月変更書提出予定](29) 平成29年3月 潮見泰歳教授退職に伴い学部長を兼任させると共に専任教員としての採用年月を平成29年4月とした。 平成29年3月 潮見泰歳教授退職のため、伊藤俊一教授が内藤晴子兼任講師とのオムニバスを担当する。 [平成29年6月変更書提出予定](29)
兼	講師	イトウ トシカズ 伊藤 俊一	<平成29年4月>	リハビリテーション概論※ 健康増進障害予防概論 健康増進障害予防演習Ⅰ(検査測定) 臨床見学実習(理学療法)					
専	教授(学部長)	シオミ タイソウ 潮見 泰歳	<平成29年4月>	リハビリテーション概論※ 中枢神経障害基礎論※ 理学療法概論※ 日常生活活動学(理学療法)※ 神経障害理学療法実習 臨床見学セミナー(理学療法) 臨床見学実習(理学療法) 臨床評価学セミナー(理学療法) 臨床評価学実習(理学療法) 臨床治療学セミナーⅠ(理学療法) 臨床治療学実習Ⅰ(理学療法) 臨床治療学セミナーⅡ(理学療法) 臨床治療学実習Ⅱ(理学療法) 理学療法研究法演習(卒業研究) 理学療法ゼミⅠ 理学療法ゼミⅡ 国際医療支援論				後任未定	平成29年3月 潮見泰歳教授病氣療養のため退職。後任候補者について、教授採用若しくは内部昇格も含め検討中。「平成29年10月変更書提出予定」(29) 平成29年3月 潮見泰歳教授退職に伴いオムニバスを解消し分担任である教授が一人で担当する。(29) 平成29年3月 潮見泰歳教授退職に伴いオムニバスを解消し分担任である兼任講師が一人で担当する。(29) 平成29年3月 潮見泰歳教授退職に伴いオムニバスを解消し分担任である教授が一人で担当する。(29) 平成29年3月 潮見泰歳教授退職に伴いオムニバスを解消し分担任である准教授が一人で担当する。(29) 平成29年3月 潮見泰歳教授退職に伴い担当者の変更(29) 臨床実習科目、理学療法研究法実習(卒業研究)、理学療法ゼミⅠ・理学療法ゼミⅡの理学療法専攻所属教員全員で教育を担当する授業科目については、4名の教授を中心とした9名の専任教員及び5名の兼任講師を担当するため、授業には支障がない。(29) 平成29年3月 潮見泰歳教授退職のため専任教員と兼任講師のオムニバスによる授業とする。(29) 潮見泰歳教授担当授業科目については、「平成29年6月変更書提出予定」(29)
専	教授	コバヤシ タクミ 小林 巧	<平成29年4月>	運動器障害基礎論※ 理学療法概論※ 理学療法基礎評価学Ⅰ※ 理学療法基礎評価学Ⅰ演習※ 理学療法基礎評価学Ⅱ※ 運動器障害理学療法実習※ 運動器障害理学療法実習Ⅰ※ 運動器障害理学療法実習Ⅱ※ 臨床見学セミナー(理学療法) 臨床見学実習(理学療法) 臨床評価学セミナー(理学療法) 臨床評価学実習(理学療法) 臨床治療学セミナーⅠ(理学療法) 臨床治療学実習Ⅰ(理学療法) 臨床治療学セミナーⅡ(理学療法) 臨床治療学実習Ⅱ(理学療法) 理学療法研究法演習(卒業研究) 理学療法ゼミⅠ 理学療法ゼミⅡ				理学療法概論	平成29年3月 潮見泰歳教授退職のためオムニバスを解消し、小林巧教授の単独授業とする。 [平成29年6月変更書提出予定](29)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	ヤマナカ 山中 マサノリ 正紀	<平成30年4月>	運動学※ 義肢装具学(理学療法) 運動器障害理学療法※ 臨床見学実習(理学療法) 臨床評価学セミナー(理学療法) 臨床評価学実習(理学療法) 臨床治療学セミナーⅠ(理学療法) 臨床治療学実習Ⅰ(理学療法) 臨床治療学セミナーⅡ(理学療法) 臨床治療学実習Ⅱ(理学療法) 理学療法研究法演習(卒業研究) 理学療法管理※ 理学療法ゼミⅠ 理学療法ゼミⅡ スポーツ傷害理学療法※						
兼	講師	ヤマナカ 山中 マサノリ 正紀	<平成29年4月>	運動学※ 臨床見学実習(理学療法)						
専	教授	クマモト 隈元 ツネオ 庸夫	<平成30年4月>	運動学※ 理学療法基礎評価学Ⅰ※ 理学療法基礎評価学Ⅰ演習※ 理学療法基礎評価学Ⅱ※ 臨床見学実習(理学療法) 臨床評価学セミナー(理学療法) 臨床評価学実習(理学療法) 臨床治療学セミナーⅠ(理学療法) 臨床治療学実習Ⅰ(理学療法) 臨床治療学セミナーⅡ(理学療法) 臨床治療学実習Ⅱ(理学療法) 理学療法研究法 理学療法研究法演習(卒業研究) 理学療法ゼミⅠ 理学療法ゼミⅡ						
兼	講師	クマモト 隈元 ツネオ 庸夫	<平成29年4月>	運動学※ 臨床見学実習(理学療法)						
専	教授	タチ ノブタダ 館 延忠	<平成29年4月>	人体構造機能学実習 人間発達学※ 薬理学概論※ 発達障害基礎論※						
専	教授	コヤマ ミット 小山 充道	<平成29年4月>	学びの技法※ 理解と表現※ 心理学 臨床心理学						
専	教授	ウツノミヤ テルオ 宇都宮 輝夫	<平成29年4月>	学びの技法※ 理解と表現※ 倫理学 応用倫理学 思想の歴史 現代の社会と人間						
専	教授	ナカバヤシ ヒデカズ 小林 秀和	<平成29年4月>	学びの技法※ 理解と表現※ 生命科学概論 生物学 基礎生化学 人体構造機能学Ⅰ(内臓・脈管系)※ 人体構造機能学Ⅱ(内臓・脈管系)						
専	教授	ワダ タツヒコ 和田 龍彦	<平成29年4月>	情報学 自然科学概論 統計学 物理学 医療安全管理学						
専	教授	スズキ ダイスケ 鈴木 大輔	<平成29年4月>	人体構造機能学Ⅰ(筋・骨関節系) 人体構造機能学Ⅰ(神経系) 人体構造機能学Ⅱ(筋・骨関節系) 人体構造機能学Ⅱ(神経系) 人体構造機能学実習						
専	准教授	タナカ 田中 マサシ 昌史	<平成31年4月>	老年学※ 日常生活活動学(理学療法)※ 日常生活活動評価学 日常生活活動評価学演習 臨床見学実習(理学療法) 臨床評価学セミナー(理学療法) 臨床評価学実習(理学療法) 臨床治療学セミナーⅠ(理学療法) 臨床治療学実習Ⅰ(理学療法) 臨床治療学セミナーⅡ(理学療法) 臨床治療学実習Ⅱ(理学療法) 理学療法研究法演習(卒業研究) 理学療法管理※ 理学療法ゼミⅠ 理学療法ゼミⅡ				日常生活活動学(理学療法)	平成29年3月 湖見泰蔵教授退職のためオムニバスを解消し田中昌史准教授の単独授業とする。 [平成29年6月変更書提出予定] (29)	
兼	講師	タナカ 田中 マサシ 昌史	<平成29年4月>	老年学※ 日常生活活動学(理学療法)※ 日常生活活動評価学 日常生活活動評価学演習 臨床見学実習(理学療法)				日常生活活動学(理学療法)	平成29年3月 湖見泰蔵教授退職のためオムニバスを解消し田中昌史准教授の単独授業とする。 [平成29年6月変更書提出予定] (29)	
専	准教授	ササキ ツトム 佐々木 努	<平成29年4月>	作業学概論※ 社会生活行為学※ 作業療法評価学(高次脳機能障害) 作業療法評価学演習Ⅳ(高次脳機能障害) 高次脳機能障害作業治療学 臨床見学セミナー(作業療法) 臨床見学実習(作業療法) 臨床評価学セミナー(作業療法) 臨床評価学実習(作業療法) 臨床治療学セミナーⅠ(作業療法) 臨床治療学実習Ⅰ(作業療法) 臨床治療学セミナーⅡ(作業療法) 臨床治療学実習Ⅱ(作業療法) 作業療法研究法 作業療法研究法演習(卒業研究)						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	コバヤシ タクミ 小林 匠	<平成29年4月>	運動器障害基礎論※ 運動器障害理学療法学※ 運動器障害理学療法学演習Ⅰ※ 運動器障害理学療法学演習Ⅱ※ 臨床見学セミナー(理学療法) 臨床見学実習(理学療法) 臨床評価学セミナー(理学療法) 臨床評価学実習(理学療法) 臨床治療学セミナーⅠ(理学療法) 臨床治療学実習Ⅰ(理学療法) 臨床治療学セミナーⅡ(理学療法) 臨床治療学実習Ⅱ(理学療法) 理学療法研究法演習(卒業研究) 理学療法ゼミⅠ 理学療法ゼミⅡ スポーツ傷害理学療法学※ 運動器障害理学療法学特論						
専	講師	クボ カツユキ 久保 勝幸	<平成31年4月>	作業分析学※ 作業療法評価学演習Ⅰ(身体・老年期障害) 作業療法評価学演習Ⅱ(身体・老年期・発達障害)※ 老年期障害作業治療学 生活環境学(作業療法)※ 臨床評価学セミナー(作業療法) 臨床評価学実習(作業療法) 臨床治療学セミナーⅠ(作業療法) 臨床治療学実習Ⅰ(作業療法) 臨床治療学セミナーⅡ(作業療法) 臨床治療学実習Ⅱ(作業療法) 作業療法研究法演習(卒業研究)						
兼	講師	クボ カツユキ 久保 勝幸	<平成29年4月>	作業分析学※ 作業療法評価学演習Ⅰ(身体・老年期障害) 作業療法評価学演習Ⅱ(身体・老年期・発達障害)※						
専	講師	ミヤケ タマキ 三宅 環	<平成30年4月>	作業分析学※ 作業療法評価学演習Ⅱ(身体・老年期・発達障害)※ 身体障害作業治療学 臨床見学セミナー(作業療法) 臨床見学実習(作業療法) 臨床評価学セミナー(作業療法) 臨床評価学実習(作業療法) 臨床治療学セミナーⅠ(作業療法) 臨床治療学実習Ⅰ(作業療法) 臨床治療学セミナーⅡ(作業療法) 臨床治療学実習Ⅱ(作業療法) 作業療法研究法演習(卒業研究) 作業療法管理学 身体・老年期障害作業治療学特論						
兼	講師	ミヤケ タマキ 三宅 環	<平成29年4月>	臨床見学セミナー(作業療法) 臨床見学実習(作業療法)						
専	講師	マツダ タツユキ 松田 竜幸	<平成30年4月>	作業療法評価学(精神障害)※ 作業療法評価学演習Ⅲ(精神障害) 精神障害作業治療学※ 臨床見学セミナー(作業療法) 臨床見学実習(作業療法) 臨床評価学セミナー(作業療法) 臨床評価学実習(作業療法) 臨床治療学セミナーⅠ(作業療法) 臨床治療学実習Ⅰ(作業療法) 臨床治療学セミナーⅡ(作業療法) 臨床治療学実習Ⅱ(作業療法) 作業療法研究法演習(卒業研究) 精神障害作業治療学特論 臨床見学セミナー(作業療法)	専	講師	マツダ タツユキ 松田 竜幸	<平成29年4月>		理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則第3条第3項に定める作業療法士である専任教員数を開学初年度で下回るので松田竜幸講師の専任教員としての採用年月を平成29年4月とした。(29)
兼	講師	マツダ タツユキ 松田 竜幸	<平成29年4月>	臨床見学実習(作業療法)						
専	講師	ヤマダ キョウヘイ 山田 恭平	<平成29年4月>	日常生活活動学(作業療法)演習※ 社会生活行為学※ 作業療法評価学(身体・老年期障害) 臨床見学セミナー(作業療法) 臨床見学実習(作業療法) 臨床評価学セミナー(作業療法) 臨床評価学実習(作業療法) 臨床治療学セミナーⅠ(作業療法) 臨床治療学実習Ⅰ(作業療法) 臨床治療学セミナーⅡ(作業療法) 臨床治療学実習Ⅱ(作業療法) 作業療法研究法演習(卒業研究) 作業療法特別セミナー						
専	講師	サトウ キミヒロ 佐藤 公博	<平成30年4月>	北海道の医療と社会・経済 人体構造機能学実習 物理療法学 臨床見学セミナー(理学療法) 臨床見学実習(理学療法) 臨床評価学セミナー(理学療法) 臨床評価学実習(理学療法) 臨床治療学セミナーⅠ(理学療法) 臨床治療学実習Ⅰ(理学療法) 臨床治療学セミナーⅡ(理学療法) 臨床治療学実習Ⅱ(理学療法) 理学療法研究法演習(卒業研究) 理学療法ゼミⅠ 理学療法ゼミⅡ						
兼	講師	サトウ キミヒロ 佐藤 公博	<平成29年4月>	北海道の医療と社会・経済 臨床見学セミナー(理学療法) 臨床見学実習(理学療法)						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	講師	モリノ アキラ 森野 陽	<平成29年4月>	人体構造機能学Ⅰ(内臓・脈管系)※ 人体構造機能学Ⅱ(内臓・脈管系) 周術期医療基礎論※ 内部障害基礎論 内部障害理学療法学※ 内部障害理学療法学演習Ⅰ 臨床見学セミナー(理学療法) 臨床見学実習(理学療法) 臨床評価学セミナー(理学療法) 臨床評価学実習(理学療法) 臨床治療学セミナーⅠ(理学療法) 臨床治療学実習Ⅰ(理学療法) 臨床治療学セミナーⅡ(理学療法) 臨床治療学実習Ⅱ(理学療法) 理学療法研究法演習(卒業研究) 理学療法ゼミⅠ 理学療法ゼミⅡ 内部障害理学療法学特論						
専	講師	サトウ タクヤ 佐藤 拓也	<平成31年4月>	人間発達学※ 発達障害基礎論※ 日常生活活動学(作業療法)※ 日常生活活動学(作業療法)演習※ 作業療法評価学演習Ⅱ(身体・老年期・発達障害)※ 作業療法評価学(発達障害) 発達障害作業治療学 臨床評価学セミナー(作業療法) 臨床評価学実習(作業療法) 臨床治療学セミナーⅠ(作業療法) 臨床治療学実習Ⅰ(作業療法) 臨床治療学セミナーⅡ(作業療法) 臨床治療学実習Ⅱ(作業療法) 作業療法研究法演習(卒業研究) 発達障害作業治療学特論						
兼	講師	サトウ タクヤ 佐藤 拓也	<平成29年4月>	人間発達学※ 発達障害基礎論※ 日常生活活動学(作業療法)※ 作業療法評価学演習Ⅱ(身体・老年期・発達障害)※ 作業療法評価学(発達障害)						
専	講師	オオイケ キョウコ 大池 京子	<平成29年4月>	理解と表現※ 基礎英語 英会話 英語ライティング 保健医学英語Ⅰ 保健医学英語Ⅱ						
専	助教	イトウ シュンスケ 伊藤 俊輔	<平成30年4月>	人体構造機能学Ⅱ(筋・骨関節系) 人体構造機能学実習 運動学演習 臨床見学セミナー(理学療法) 臨床見学実習(理学療法) 臨床評価学セミナー(理学療法) 臨床評価学実習(理学療法) 臨床治療学セミナーⅠ(理学療法) 臨床治療学実習Ⅰ(理学療法) 臨床治療学セミナーⅡ(理学療法) 臨床治療学実習Ⅱ(理学療法) ケーススタディ※ 理学療法研究法演習(卒業研究) 理学療法ゼミⅠ 理学療法ゼミⅡ 神経障害理学療法学特論	専	助教	イトウ シュンスケ 伊藤 俊輔	<平成29年4月>		平成29年3月 潮見泰蔵教授の辞職により、理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則第2条第4項に定める理学療法士である専任教員数を開学初年度で下回るため伊藤俊輔助教の専任教員としての採用年月を平成29年4月とした。(29)
兼	講師	イトウ シュンスケ 伊藤 俊輔	<平成29年4月>	人体構造機能学Ⅱ(筋・骨関節系) 運動学演習 臨床見学セミナー(理学療法) 臨床見学実習(理学療法)						
専	助教	ミウラ マサキ 三浦 正樹	<平成30年4月>	精神障害基礎論※ 作業療法評価学(精神障害)※ 精神障害作業治療学※ 作業療法研究法演習(卒業研究) 箱づくり法 生活行為向上リハビリテーション論※			ミウラ マサキ 三浦 正樹	<平成29年4月>		理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則第3条第3項に定める作業療法士である専任教員数を開学初年度で下回るため三浦正樹助教の専任教員としての採用年月を平成29年4月とした。(29)
兼	講師	シダ マサヒロ 信太 雅洋	<平成29年4月>	人体構造機能学Ⅰ(内臓・脈管系)※ 人体構造機能学Ⅱ(内臓・脈管系) 内部障害理学療法学※ 内部障害理学療法学演習Ⅱ 生活環境学(理学療法)※ 臨床見学実習(理学療法) 臨床評価学セミナー(理学療法) 臨床評価学実習(理学療法) 臨床治療学セミナーⅠ(理学療法) 臨床治療学実習Ⅰ(理学療法) 臨床治療学セミナーⅡ(理学療法) 臨床治療学実習Ⅱ(理学療法) 内部障害理学療法学特論						
兼	講師	クボタ ケンタ 久保田 健太	<平成29年4月>	人体構造機能学実習 中枢神経障害基礎論※ 神経障害理学療法学 神経障害理学療法学演習 臨床見学実習(理学療法) 臨床評価学セミナー(理学療法) 臨床評価学実習(理学療法) 臨床治療学セミナーⅠ(理学療法) 臨床治療学実習Ⅰ(理学療法) 臨床治療学セミナーⅡ(理学療法) 臨床治療学実習Ⅱ(理学療法) 神経筋疾患理学療法学					中脳神経障害基礎論 神経障害理学療法学実習	平成29年3月 潮見泰蔵教授の辞職のため「中脳神経障害基礎論」については、オムニバスを解消し久保田健太の単独授業とする。(29) 潮見泰蔵教授の辞職のため「神経障害理学療法学実習」については、久保田健太が担当する。(29) 「平成29年6月変更書提出予定」(29)

専任・兼任・兼任の別	設置時の計画				変更状況				備考
	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼	講師	セコ トシアキ 世古 俊明	<平成29年4月>	社会調査法※ 人体構造機能学実習 運動学演習 老年学※ 地域理学療法学※ 臨床見学実習(理学療法) 臨床評価学セミナー(理学療法) 臨床評価学実習(理学療法) 臨床治療学セミナーⅠ(理学療法) 臨床治療学実習Ⅰ(理学療法) 臨床治療学セミナーⅡ(理学療法) 臨床治療学実習Ⅱ(理学療法) ケーススタディー※ 高齢者理学療法学					
兼	講師	オガワ シュンイチ 小川 峻一	<平成29年4月>	人体構造機能学実習 健康増進障害予防演習Ⅰ(検査測定) 健康増進障害予防演習Ⅱ(実践指導) 臨床見学実習(理学療法) 臨床評価学セミナー(理学療法) 臨床評価学実習(理学療法) 臨床治療学セミナーⅠ(理学療法) 臨床治療学実習Ⅰ(理学療法) 臨床治療学セミナーⅡ(理学療法) 臨床治療学実習Ⅱ(理学療法) 神経障害理学療法学特論					
兼	講師	トミナガ ヒロミ 富永 寿美	<平成29年4月>	人体構造機能学実習 臨床見学実習(理学療法) 臨床評価学セミナー(理学療法) 臨床評価学実習(理学療法) 臨床治療学セミナーⅠ(理学療法) 臨床治療学実習Ⅰ(理学療法) 臨床治療学セミナーⅡ(理学療法) 臨床治療学実習Ⅱ(理学療法)					
兼	講師	サカエ シズエ 架 志津江	<平成29年4月>	人体構造機能学実習 作業分析学※ 日常生活活動学(作業療法)※ 臨床評価学セミナー(作業療法) 臨床評価学実習(作業療法) 臨床治療学セミナーⅠ(作業療法) 臨床治療学実習Ⅰ(作業療法) 臨床治療学セミナーⅡ(作業療法) 臨床治療学実習Ⅱ(作業療法)					
兼	講師	シラト カズヒデ 白戸 一秀	<平成29年4月>	社会貢献の方法と実践 福祉介護概論					
兼	講師	タニモト アキヒサ 谷本 晃久	<平成29年4月>	歴史学					
兼	講師	ナイトウ ジュンコ 内藤 順子	<平成29年4月>	社会調査法※ 文化人類学				国際医療支援論※	平成29年3月 朝倉森蔵教授退職のため、伊藤俊一教授とオムニバスで担当する。 [平成29年6月変更書提出予定] (29)
兼	講師	タキザワ カズキ 濑澤 一騎	<平成30年4月>	スポーツ・レクリエーション学					
兼	講師	サトウ アキノリ 佐藤 明紀	<平成30年4月>	周術期医療基礎論※					
兼	講師	キタムラ ノブト 北村 信人	<平成30年4月>	運動器障害基礎論※					
兼	講師	タマカワ ミツハル 玉川 光春	<平成30年4月>	医用画像解析学概論					
兼	講師	モリ マサヒコ 盛 雅彦	<平成30年4月>	在宅リハビリテーション学					
兼	講師	キタカゼ ユウコ 北風 祐子	<平成30年4月>	言語聴覚療法概論					
兼	講師	コヤマ アキト 小山 昭人	<平成31年4月>	内部障害理学療法学※					
兼	講師	ムラカミ トオル 村上 亨	<平成31年4月>	地域理学療法学※					
兼	講師	ヒルマ モトオ 蛭間 基夫	<平成31年4月>	生活環境学(理学療法)※					
兼	講師	ゴウ カズノリ 郷 一紀	<平成31年4月>	義肢装具学(作業療法)※ 義肢装具学(作業療法)演習※					
兼	講師	スズキ エミ 鈴木 絵美	<平成31年4月>	生活環境学(作業療法)※					
兼	講師	コヤマ ヨシアキ 小山 芳明	<平成31年4月>	地域作業療法学※					
兼	講師	イケモト アキコ 池元 翠子	<平成31年4月>	地域作業療法学※					
兼	講師	ホリエ 聡美 堀江 聡美	<平成31年4月>	特別支援教育概論					
兼	講師	サトウ マサトシ 佐藤 正俊	<平成30年4月>	精神障害基礎論※					

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼	講師	センゴク ヤスヒト 仙石 泰仁	<平成29年4月>	作業療法概論 社会生活行為学※						
兼	講師	オサナミ ユキヒロ 長南 行浩	<平成31年4月>	義肢装具学(作業療法)※ 義肢装具学(作業療法)演習※						
兼	講師	カナヤ クニヒロ 金谷 匡敏	<平成31年4月>	生活行為向上リハビリテーション論※						

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
23	12
名	名

- (注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在(報告書提出時)の状況					現在(報告書提出時)の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
12	3	8	2	25	9	2	4	2	17	12	3	8	2	25
(9)	(2)	(3)	(-)	(14)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(A))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	5	1
歳	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)。および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	教授	潮見 泰藏	必修	リハビリテーション概論	①	(1) 潮見泰藏教授は、大学新設の諸準備と北海道千歳リハビリテーション学院（以下「学院」という。）の教育研究体制の更なる強化のため、平成26年11月1日、学院の教授として採用された。 (2) 潮見教授は、平成29年度開設予定の大学新設に向けて学院長を補佐し、主に教育課程構築に力を発揮していたところである。 (3) 昨年末から、東京在住のご家族の体調が思わしくなく潮見教授は多忙な中、週末には東京に戻りご家族の看護と、週明けには学院での授業や大学設置準備を行うなどしていた。 (4) 今年に入り、潮見教授ご自身の体調が優れず、検査等を繰り返していたところ、膀胱に異常な炎症があることが判明し、医師からは精査が必要であると告知されている。 (5) 体調不良のご家族を抱えて本人の体調も優れず検査等で休みがちとなった中で、千歳で単身生活を続けることや4月開学の新設大学で学部長の要職を務めることは、体力的にも厳しく、本人はこれ以上、大学に迷惑はかけられないと判断されて、この度の「辞職願」提出に至ったものである。(29) 潮見教授担当17科目の後任の補充については、専任教員採用等設置計画変更書（AC教員審査）「平成29年6月提出予定」(29)			
			必修	中枢神経障害基礎論	②				
			選択	理学療法概論	①				
			選択	日常生活活動学（理学療法）	①				
			選択	神経障害理学療法学実習	②				
			選択	臨床見学セミナー（理学療法）	①				
			選択	臨床見学実習（理学療法）	①				
			選択	臨床評価セミナー（理学療法）	①				
			選択	臨床評価実習（理学療法）	①				
			選択	臨床治療セミナーⅡ（理学療法）	①				
			選択	臨床治療実習Ⅰ（理学療法）	①				
			選択	臨床治療実習Ⅱ（理学療法）	①				
			選択	理学療法研究法演習（卒業研究）	①				
			選択	理学療法ゼミⅠ	①				
選択	理学療法ゼミⅡ	①							
選択	国際医療支援論	①							
合計（A）									
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
1	人	必修	2 科目	必修	1 科目	必修	1 科目	必修	0 科目
		選択	15 科目	選択	14 科目	選択	1 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	17 科目	計	15 科目	計	2 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
		該当なし						
合計（C）						後任補充状況の集計（D）		
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）		
該当なし	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記(3)－①・(3)－②の合計

合計(A)+(C)			後任補充状況の集計(B)+(D)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
1人	必修	2科目	必修	1科目	必修	1科目	必修	0科目
	選択	15科目	選択	14科目	選択	1科目	選択	0科目
	自由	0科目	自由	0科目	自由	0科目	自由	0科目
	計	17科目	計	15科目	計	2科目	計	0科目

(注)・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>1. 潮見教授は新設大学の学部長予定者であり、理学療法学専攻の教授として期待も大きかった人物であること、また、新設大学にとって、この4月は第1期生を受入れる特に重要な時期でもあり、検査結果が明らかとなって治療を開始して、一定の効果をみるまで大学に在籍することへの慰留に努めたが、本人の辞職の意志が固く、学校法人としても潮見教授の事情を勘案すると、この度の辞職はやむを得ないと判断し辞職を承認したものである。</p> <p>2. 潮見教授の担当科目は17科目であり、そのうち、1学年前期に開設される授業科目は4科目である。1学年前期に開設される4科目のうち、「リハビリテーション概論」、「理学療法概論」の2科目は何れも専任教授とのオムニバスでの対応であり、残りの2科目「臨床見学セミナー(理学療法)」、「臨床見学実習(理学療法)」は理学療法学専攻所属の専任教員(6名)若しくは専任教員(10名)に兼任教員(5名)を加えた15名の教員で対応する予定であったものである。</p> <p>3. 学生の教育上支障がないよう、当初オムニバスで予定していた科目については、大学院教育を担当した教授や教育歴20年以上の教授が対応するなどとし、また、「理学療法研究法演習(卒業研究)」、「理学療法ゼミⅠ・Ⅱ」のように理学療法学専攻所属教員全員で教育を担当する授業科目については、4名の教授を中心とした9名の専任教員で、臨床実習科目については、9名の専任教員に5名の兼任講師を加え対応することで、当初予定していた教育効果は十分担保でき、学生の学修への影響はほぼ無いと判断している。なお、潮見教授担当科目17科目については、直近(平成29年6月)の「専任教員採用等設置計画変更書(AC教員審査)」をお願いする予定である。</p> <p>4. また、理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則第2条第4項に定める理学療法士である専任教員数を開設年度で1名下回るので、理学療法士免許を持つ伊藤俊輔(助教)の大学採用年度を平成29年4月1日とする他、潮見泰蔵教授の後任教員の採用手続き(AC教員審査)を急ぐと共に、学部長職については、当分の間、伊藤俊一教授・副学長が兼務する。</p> <p>5. 学生への周知は、授業開講前であったため、シラバス及び週日課授業時間表を配付し周知した。</p>
--

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成28年8月)	設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。	留意事項	1.開学初年度を迎え、公的性質をもつ私立大学の教職員としての自覚を促し、教職員が遵守する「北海道千歳リハビリテーション大学の教育倫理綱領」を定めると共に、4年制大学にふさわしい教育研究活動を実施するため具体的な活動方針を定めた。(29) 2.また、教育研究の水準を一層向上させるように、各種委員会の設置、諸規程の整備を行った。(29) 3.開学前からFD委員会を立上げ、研修会を実施するなど活動を開始している。(29)
設 置 時 (平成28年8月)	体育館が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。	留意事項	体育館は、校舎と同じ千歳市向陽台地区にあり、キャンパスから2kmの至近距離に位置している。このため、移動時間も徒歩20分程度であり、教育上の支障はないと思慮している。また、学生の課外活動についても、公認団体、非公認団体を問わず、学生及び顧問教員との話し合い等を通じて支障が生じないように対応していく(29)
設 置 時 (平成28年8月)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について着実に実施すること。	留意事項	完成年度に70歳を超えて在職する者は、更新を行わず若返りを図ることとし、退職者の後任の採用は、内部昇格を基本とし、その補充は可能な限り、下位の職位として若返るようにする。そのため、教員研究費の配分、研究時間の確保、研究発表の機会にも配慮する他、若手教員の博士課程在学者への支援も行う。(29)
設置計画履行状況 調 査 時	該当なし		

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<健康科学部 リハビリテーション学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>ファカルティ・ディベロップメント（FD）委員会を設置。大学設置認可後（平成28年10月）から、大学教員となる者及び事務局職員で構成するFD委員会を組織し、年間スケジュールを決定すると共に講演会や研修会を開催してきた。開学後、新たに大学教員として採用する者のうちから、新メンバーを追加するなど委員の見直しを行いながら委員会組織の強化を図る。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>FD委員会は必要に応じて委員長が召集することとし（これまで3回の開催）、機動的に開催できるようにした。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 新任教員のための研修会 ② 新任教員以外の教員のための研修、教育方法改善のための講習会 ③ 教員相互の授業参観、授業評価 ④ 学生による授業評価アンケート調査と結果の報告 ⑤ 担任教員による学生意識調査 ⑥ 実習施設へのアンケート調査 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 勉強会の開催（開学前 平成28年12月） ・ マナー研修の実施（開学前 平成29年1月） ・ 全教員に職員倫理、ハラスメント防止、不正行為の防止、服務などの注意事項を記載したハンドブックを配付し、教員として遵守すべき事柄を周知した。（平成29年4月） ・ 本学の教育の目標を達成するため、教員が自らを律する規範を定めた「教育倫理綱領」を制定、全教員に配付し説明を行った。（平成29年4月） ・ 平成29年度活動方針の策定・説明を行った。（平成29年4月） ・ 大学院に在学中の教員の研究成果報告会（平成29年4月） <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 勉強会、マナー研修は外部講師を招いて実施 ・ 大学院に在学中の教員研究成果報告会は、4名の若手教員により実施 ・ その他は教授会で資料を配付し説明した。 <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○勉強会「超音波による肩関節の診かた」 11名、「InBody（体成分分析装置）説明会」 11名 ○マナー研修「教職員の学生への対応について」 22名 ○ハンドブックの配付及び説明並びに教育倫理綱領、29年度活動方針の説明 28名 ○大学院に在学中の教員の研究成果報告会 18名 <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>現時点では授業改善に向けての具体的な取組には至っていないが、理学療法学専攻、作業療法学専攻の両専攻の教員会議で授業内容と方法に関する意見交換を行っている。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <p>FD委員会において実施予定日を策定する。</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等</p> <p>公開の方法やフィードバックの効果等について、FD委員会で検討する。</p>

- (注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
本学は、学則第2条及び第55条に基づき、本学の教育研究活動等の状況について、自ら点検し、評価を行うため「自己点検・評価委員会」を設置する。自己点検・評価委員会は学長、副学長、学部長、学科長、事務局長等、職指定された者で構成する他、学長が必要と認めた者をもって構成する。
各点検・評価項目については、委員会に置く専門部会で行い、委員会は全体的な点検・評価を行い、報告書にとりまとめる。現在、委員会立上げ準備を進めている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期
・自己点検・評価委員会において平成30年度中の実施予定日を策定する。

b 公表方法
・大学ホームページ上に公開予定（自己点検・評価委員会で決定する。）

③ 認証評価を受ける計画
開学後7年以内に評価機関の評価を受けるべく検討を行う。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有) ・ (無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (29年 6月 30日)

（目的）

- 第1条 この規程は、学則第56条第3項に基づき、ファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。）委員会（以下「委員会」という。）に関して必要な事項を定める。
- 2 委員会は、教員の教育活動の向上・能力開発に関して恒常的に検討を行い、その質的充実を図ることに関する重要事項について審議する。

（組織）

- 第2条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。
- (1) 学部長
 - (2) 学科長
 - (3) 事務局長
 - (4) 前各号に掲げるもののほか、学部長が必要と認める者
- 2 委員会に委員長を置き、学部長をもって充てる。
- 3 委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、委員長があらかじめ指名した委員がその職務を代理する。

（委員の任期）

- 第3条 第2条第1項第4号の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（活動）

- 第4条 委員会の活動の内容は次に掲げるものとする。
- (1) 新任教員のための研修
 - (2) 新任教員以外の教員のための研修、教育方法改善のための講演会
 - (3) 教員相互の授業参観、授業評価
 - (4) 学生による授業評価アンケート調査と結果の報告
 - (5) 担任教員による学生意識調査
 - (6) 実習施設へのアンケート調査

（活動結果の公表）

- 第5条 委員会は、活動結果について隔年で報告書を作成して学長に提出するものとする。
- 2 前項で取りまとめた報告書は、学長が意見を付し、委員会の議を経たのちこれを公表するものとする。

（会議）

- 第6条 委員会は、必要に応じ委員長が招集し、その議長となる。

（作業部会）

- 第7条 委員会に、その業務を円滑に行うため、作業部会を設けることができる。

2 作業部会の組織及び運営に関し必要な事項は、委員会において定める。

(結果の活用)

第8条 本学教職員は、FD活動結果をふまえて、積極的にその結果を活用して、教育活動の向上を図り、大学の改善に資するように努めるものとする。

(庶務)

第9条 委員会の庶務は、事務局において処理する。

(雑則)

第10条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営及びFD活動に必要な事項は、別に定める。

(改正)

第11条 この規程の改正は、委員会の発議により、学長が行う。

附 則

この規程は、平成28年8月31日大学設置認可の日から施行する。